

令和7年度 萩野小学校 スクールプラン

【学校教育目標】 自ら学び、ともに生きる

【めざす児童像】 はきはきと話し、よく考える子
きもちのやさしい子
のびのびとたくましい子

越前町学校教育目標

すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現

越前町学校教育方針

個性と協働が共存する学校教育

未来を拓く学力

<重点目標>

- 対話を通して学び合う力の育成
- 自己存在感を実感できる授業づくり
- ふるさとを学びの場とした探究的な学習の充実

<数値目標>

- ・「授業に主体的に参加している（意識調査ウ）」と答える児童が90%以上
- ・「授業がよくわかる（意識調査エ）」と答える児童が90%以上
- ・「ふるさととのよさが分かった」と答える児童が90%以上

<具体的取組>

- ・目的意識と相手意識を明確にして自分の思いや考えを持たせ、ペアやグループ、全体での対話など、アウトプットする機会を充実させる。
- ・生徒指導の4つの視点を意識して授業を進め、個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、ICT 機器を効果的に用いる。
- ・ふるさと CM 作り・閉校イベント等をきっかけとして、ふるさとに関する探究的な学習を行うことで、探究する力を伸ばし、閉校に向けての意識を高める。

豊かな心と健やかな体

<重点目標>

- 学級・学校づくりに参画する力の育成
- 多様性を認め、協働できる心の醸成
- 心と体の健康づくり

<数値目標>

- ・「学校が楽しい（意識調査ア）」と答える児童が90%以上
- ・「みんなで何かをするのは楽しい（意識調査イ）」と答える児童が90%以上
- ・「めあてをもって生活することができた」と答える児童が90%以上

<具体的取組>

- ・児童主体で計画・実践・振り返りを繰り返し、自治力を高める。（係・委員会活動、縦割り班活動、行事）
- ・道徳、行事、縦割り班活動等と関連を図ったポジティブ（レジリエンス）教育を行い、逆境に負けない心を育む。
- ・業間運動・体育・生活習慣において、意欲的に活動ができるように、めあてを決め、振り返りを行う。

職員の働き方

重点目標

具体的取組

健康でいきいきと勤務できる環境づくり

- ・協働業務の意識向上
- ・校内 OJT の推進
- ・業務の効率化
- ・18時までに退庁の励行
- ・家庭・地域・外部機関（織田小を含む）との連携